

# 週休二日の実現に向けて



## 働き方を変える。建設業を変えていく。

これは、単なるスローガンではありません。必ず成し遂げるといふ宣言であり、約束でもあります。

小さな気付きや行動から、業界全体を変えていく。

一人ひとりの働き方を見直すことが、次世代の働き手を増やすことにもつながると思うから。

週休二日を。

誰もが笑顔で働ける未来を。すべての現場で実現していきます。



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会 九州支部**

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS KYUSHU BRANCH OFFICE

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目3-22 産恵ビル3階 TEL 092-451-6244 FAX 092-481-0941

編集・発行 **総務広報委員会**

### 一般社団法人 日本建設業連合会 本部・各支部

<b>本部</b>	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-8-5 TEL03-3553-0701 FAX03-3551-4954	<b>中部支部</b>	〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21 TEL052-261-3808 FAX052-261-4363	愛知・岐阜・静岡・三重
<b>北海道支部</b>	〒060-0002 札幌市中央区北二条西1-10 TEL011-261-6243 FAX011-261-2528	<b>関西支部</b>	〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30 TEL06-6941-3658 FAX06-6942-4031	大阪・福井・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山
<b>東北支部</b>	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 TEL022-221-7810 FAX022-265-9465	<b>中国支部</b>	〒730-0051 広島市中区大手町2-11-15 TEL082-243-3017 FAX082-242-2380	広島・鳥取・島根・岡山・山口
<b>関東支部</b>	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-8-5 TEL03-3552-3208 FAX03-3552-3206	<b>四国支部</b>	〒760-0026 高松市磨屋町6-4 TEL087-851-6969 FAX087-851-3176	香川・徳島・愛媛・高知
<b>北陸支部</b>	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 TEL025-285-8886 FAX025-285-8884	<b>九州支部</b>	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22 TEL092-451-6244 FAX092-481-0941	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

(一社)日本建設業連合会ホームページ  
<https://www.nikkenren.com/>

日建連のホームページには、建設業に関する基本データ、戦後の建設業界の関連年表、全国の土木博物館一覧表、また、他では見られない迫力ある土木写真など、お役に立つ情報が満載です。ぜひ、アクセスしてみてください。

九州の建設業 [キーストン]

# Keystone

要石(かなめ石)の意。社会資本の

整備を通じて当団体が、豊かな未来づくりのかなめとなるよう願いをこめて。

vol.  
42

2026年2月発行



五ヶ山ダム(写真提供:福岡県土整備部)

一般社団法人 日本建設業連合会 九州支部

# Message

## 支部長ご挨拶



(一社)日本建設業連合会  
九州支部 支部長  
**上田 哲夫**  
〈橋大林組 九州支店長〉

### 持続可能な建設業を実現するために

九州支部長の上田でございます。  
本誌をご覧の皆様には当支部の事業活動につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の建設産業においては、担い手の確保・育成を通じた技能と知識の継承が重要な課題であり、若い世代や女性、外国人をはじめとする多様な人材が意欲と誇りを持って長く活躍できる魅力ある職場環境の整備が求められています。

また、建設分野においては、頻発・激甚化する自然災害や進行するインフラの老朽化から国民の生命と暮らしを守るため、2025年6月に「第1次国土強靱化実施中期計画」が閣議決定され、従来を大きく上回る規模と明確な方針が示されました。これは極めて大きな意義を持つものであり、日建連としては、十分な施工余力を持って、公共事業をはじめとする建設事業を着実に遂行し、わが国の持続的な経済成長と強靱で豊かな国土づくりに向けてその責務を果たしてまいります。

併せて、資材価格の高騰を踏まえた適切な価格転嫁の実現や建設業に従事する方々の処遇改善と働き方改革の推進、改正建設業法の円滑な運用などは、いずれも持続可能な建設業を実現するための重要な課題であります。このため、2025年12月には改正建設業法が全面施行され、標準請負契約約款の改正、「労務費の基準」が導入されるなど、技能労働者の処遇改善に資する環境整備が行われたところです。日建連としても、建設業の持続的な発展に向けて、会員企業が一丸となって様々な取り組みを積極的に推進し、安心・安全で豊かな国民生活に寄与するという社会的使命を果たしてまいります。

さらに、日建連では、2025年7月に「建設業の長期ビジョン2.0」を策定しました。本ビジョンは、10年後、25年後の建設業の中長期的な方向を示す共通の指針として、建設業に関わる多くの関係者にとって活動の手がかりになるようにとの思いを込めて策定されたものです。

私も九州支部会員一同は、このビジョンが示す魅力ある産業に進化させるために様々な活動を展開するとともに、持続的な建設業を実現するために、建設業の社会的役割を果たしながら、国民の理解促進を図りつつ、建設業界の健全な発展に向けて活動してまいりますので、皆様のご理解ご協力と今一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 九州の建設業 [キーストン] Keystone

vol.  
42  
2026年2月発行

## contents

### 九州ウォッチング

2 未来への礎を築き、  
飛躍・発展する福岡県へ  
〈福岡県〉

### けんせつ小町

いつもイキイキ けんせつ小町!

10 株式会社熊谷組 九州支店  
高杉 結稀さん

12 鉄建建設株式会社 九州支店  
藤木 咲さん

14 前田建設工業株式会社 九州支店  
栗原 凜子さん、眞継 和歌乃さん、楠部 寧々さん、  
栗原 麻悠さん、池松 ひかりさん

### 現場見学会

来て、見て、感じてみよう! 土木・建築の魅力

16 親子現場見学会 福岡県宗像特別支援学校新築工事

17 けんせつ小町現場見学会 福岡大学多目的棟(仮称)新築工事

18 土木工事現場見学会 鹿児島3号東西道路  
シールドトンネル(下り線)新設工事

19 一般現場見学会 苅田港岸壁工事・JR九州社員研修センター

### 日建連の取組み

20 けんせつ小町3人がFMラジオに出演し、  
建設業の仕事を紹介!

### Report

21 •土木の日ファミリーフェスタ2025

22 •災害支援関係説明会  
•九州建設技術フォーラム2025

23 •災害防止総決起大会  
•意見交換会

24 •建設技術講演会  
•インターンシップ講演会

25 •安全環境委員会活動



### Outline

26 団体の概要

### Information

28 会員・役員名簿

# Kyushu watching

## 九州ウォッチング

### 未来への礎を築き、 飛躍・発展する福岡県へ

#### 福岡県



〈福岡県知事〉

はっとり せい たろう  
服部 誠太郎

昭和29年9月11日生まれ 福岡県北九州市出身

#### ■略歴

昭和52年 3月 中央大学法学部卒業  
昭和52年 4月 福岡県庁入庁  
平成16年 4月 総務部私学学事振興局学事課長  
平成18年 4月 総務部財政課長  
平成21年 4月 総務部次長  
平成22年 4月 福祉労働部長  
平成23年 10月 福岡県副知事  
令和 3年 4月 福岡県知事(現在、2期目)

#### はじめに

福岡県は、「未来への礎を築き、飛躍・発展する福岡県へ」をテーマに掲げ、以下の3つの柱に基づき施策を力強く展開しています。

#### ①産業を育て、はたらく場を広げる

あらゆる産業が育つための「礎」として、「産業人材」を育成し、「インフラ」の整備を戦略的に進めます。

#### ②健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

地球温暖化に伴う気候変動で毎年のように大雨に見舞われる現状を踏まえ「防災・減災」対策を強化し、県民の命と暮らしを守ります。

#### ③人を育て、人を惹きつけるまちをつくる

福岡県の未来を築く基盤は「人」であり、子育て支援や、性別・年齢・障がい・国籍を問わず「すべての人」の活躍を応援します。また、スポーツや文化芸術の力で地域を活性化し、「住み続けたい、住んでみたいまち」を目指します。

これらの施策を通じて、福岡県は、誰もが笑顔で安心して暮らせる地域社会を築くとともに、九州、ひいては日本の発展を支え、リードする役割を果たすことを目指します。

## 1 産業を育て、はたらく場を広げる

### 1.下関北九州道路

下関北九州道路は、くらし、産業・物流、観光、渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流および経済活動の活性化を支える大動脈として、そして、老朽化が進む関門トンネル(開通後67年経過)や関門橋(開通後52年経過)の代替路としての機能・役割を担う道路です。福岡県は、国、山口県、北九州市、下関市と連携し、下関北九州道路の調査・検討を行い、令和6年5月に具体的なルート案(都市計画素案)を都市計画決定権者に提出しました。令和7年12月には、当該道路に係る都市計画決定について告示され、都市計画および環境影響評価書の公告・縦覧が開始されました。

また、令和7年は、例年開催している整備促進大会(地方大会)を8月に開催し、11月には「下関北九州道路整備促進大会(中央大会)」を東京で初開催し、地域の熱い思いを国会議員や国土交通省へ直接伝え、さらなる機運を醸成することができました。下関北九州道路が完成すれば、明石海峡大橋に次ぐ日本で2番目の規模を誇る吊り橋となります。引き続き、早期実現に向けて、関係者と連携して取り組んでまいります。



下関北九州道路(完成イメージ図)

### 2.東九州自動車道の4車線化

東九州自動車道が縦断する福岡県の北九州・京築地区は、自動車や半導体関連企業が多数集積する経済の要衝です。しかし、北九州市から日南市までの全線開通後も、福岡県内48kmのうち40kmが暫定2車線であり、安全性や走行性、大規模災害時の対応に課題を抱えています。

特に、平成30年7月豪雨では土砂流出により33日間の全面通行止めが発生しました。通常時においても、交通事故や工事に伴う通行止めが約5日に1回の頻度で生じており、並行する国道10号の渋滞悪化や地域物流への支障を引き起こしています。

このため、福岡県は県議会と連携し、国に対し4車線化を強く要望してきました。その結果、令和4年11月には苅田北九州空港IC～行橋IC間の一部区間の4車線化が完成。現在、みやこ豊津IC～椎田南IC間が事業化され、行橋IC～みやこ豊津IC間が準備調査段階に進んでいます。引き続き県内全区間の早期4車線化実現を目指し、対面交通の危険性解消と災害時の脆弱性克服、地域の物流のさらなる効率化に取り組んでまいります。



東九州自動車道 土砂流出の様子(暫定2車線区間)



東九州自動車道4車線区間

### 3.スマートインターチェンジ整備

福岡県では、地域の利便性向上や経済活動の活性化のため、スマートICの整備を推進しています。令和6年6月に、全国で初となる2県に跨る小郡鳥栖南スマートICが開通しました。このスマートICの開通から1年以上が経過しましたが、高速道路へのアクセス時間短縮による物流の効率化が図られており、利用台数は、計画の4,200台/日を大幅に上回る6,587台/日<sup>(※)</sup>となっています。

さらに、令和6年9月に久留米南スマートIC(仮称)、令和7年12月には新宮スマートIC(仮称)が事業化されました。これらのスマートICの整備により、県全体の産業の発展や経済の活性化に多大な効果を生むものと期待しています。

※令和7年8月の交通量『高速道路と自動車(11月号)』より抜粋



小郡鳥栖南スマートIC

### 4.福岡空港・北九州空港の機能強化

アジアのゲートウェイとして重要な役割を果たしている福岡空港では、発着枠の増加を図ることを目的に国において滑走路増設事業を実施し、令和7年3月20日に供用開始しました。

北九州空港では、北米・欧州への大型貨物機の長距離運航が可能となるよう、滑走路の3,000mへの延長が進められています。引き続き、貨物定期便の誘致や集貨促進に取り組み、貨物拠点化を推進します。

福岡県では、これら2つの空港の役割分担、相互補完を進めることで、今後増大する航空需要に幅広く応え、ゲートウェイとしての利便性を高めることにより、本県のみならず九州全体、また西日本の発展に寄与することを目指しています。



福岡空港  
国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所  
令和7年7月撮影



北九州空港  
北九州市 港湾空港局 空港企画部空港企画課  
令和6年4月撮影

### 5.苅田港・三池港の機能強化

福岡県は、重要港湾である苅田港と三池港を管理しています。苅田港は、北九州空港や東九州自動車道に隣接しており、陸海空の結節点として高いポテンシャルを有する港湾です。背後圏には自動車産業やセメント産業等が集積するなど、地域の基幹産業を支える物流拠点となっています。現在、船舶の大型化に対応した岸壁等の整備や埠頭用地、工業用地の造成を進めています。

三池港は、大陸や東南アジアに開かれた物流拠点としての機能を果たすとともに、有明海沿岸道路との連携により県南地域の雇用や経済活動を支えています。令和7年8月には、三池港と東南アジアや欧米などを結ぶ新たな国際フィーダー航路が開設されました。現在も、船舶の大型化に対応した航路の整備を実施するとともに、船社や荷主への利用助成を実施するなど、新たなコンテナ定期航路の誘致を進めています。



苅田港



三池港

### 6.建設産業の魅力発信

福岡県は、建設産業の担い手不足や高齢化といった課題に対応するため、魅力発信活動に注力しています。令和5年度に業界団体と連携し実行委員会を立ち上げ、学生などの若者へ向けた動画や冊子の作成、イベント開催などを通じて建設産業のPRを積極的に展開しています。さらに、令和7年度からは、中高生対象の出前授業や現場見学会等の体験型プログラムに対して、生徒が魅力を感じるような企画提案への支援を行っていくこととしています。

また、こうした取組を加速させるため、令和7年8月、「土木を憧れの職業ナンバー1へ」を掲げて建設業界のPRに尽力されているデミー博士(出水亨氏)を、福岡県公認「建設産業PRプロデューサー」に任命いたしました。デミー博士には、企画・運営・広報の各面で、建設産業の魅力を広く発信する活動にご尽力いただいています。



建設産業PRプロデューサー任命式



PRイベントの様子

## 2 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

### 1.流域治水の推進

福岡県は、平成29年7月の九州北部豪雨以降、全国最多となる計6回もの「大雨特別警報」が発表されるなど、毎年のように大規模な豪雨災害に見舞われています。こうした自然災害の激甚化・頻発化に対応するため、県では「流域治水」を推進しています。

その一環として、平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた筑後川水系池町川では、地下調節池や地下放水路、排水機場、護岸高上げ等の整備を進めてきました。令和7年6月には、けやき通り地下調節池と地下放水路を暫定運用しています。



平成30年7月豪雨時の池町川浸水状況

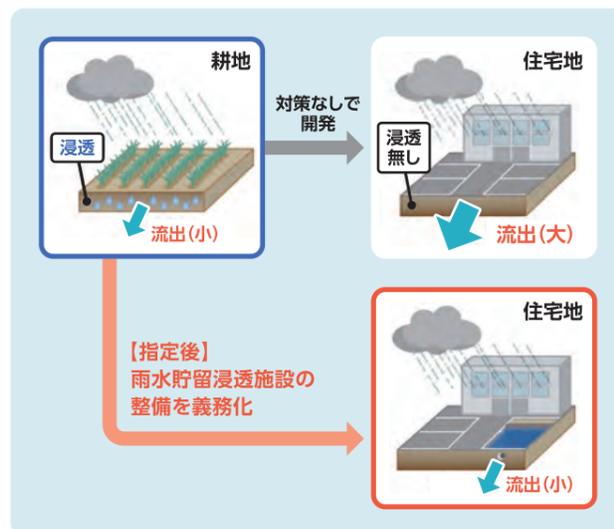


池町川第二放水路(河川改修の事例)

### 2.特定都市河川の指定

福岡県では、近年、激甚化・頻発化する水害に対応するため、令和3年改正の「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき、特定都市河川の指定に向けた調整を進めています。特に、筑後川本川の水位上昇の影響を受け、度重なる浸水被害が発生している県管理河川のうち、金丸川、池町川、下弓削川の3河川は、令和6年に指定したところです。また、令和7年12月には、国により筑後川水系巨瀬川とその支川において、特定都市河川に指定されました。これらの指定により、河川改修などのハード対策が促進されるとともに、一定規模の開発行為などに対し、雨水貯留浸透施設の整備が義務付けられ、流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」が強力に推進されます。さらに、筑後川流域の山ノ井川などの河川においても、流域自治体と特定都市河川の指定に向けた調整を進めています。

引き続き、流域内のあらゆる関係者と一体となって「流域治水」を推進し、防災・減災、県土強靱化に取り組んでまいります。



土地利用規制の強化(イメージ図)



雨水貯留浸透施設の整備(イメージ図)

### 3.道路啓開計画の抜本の見直し

福岡県は、令和6年能登半島地震などの大規模災害における道路啓開作業で得られた教訓を踏まえ、福岡県道路啓開計画を令和7年3月に改定しました。

主な改定ポイントは以下のとおりです。

- ①橋梁の耐震性能、道路防災点検における法面の要対策箇所、倒壊すれば啓開の支障となる沿道建築物の耐震状況や無電柱化の状況など、道路および沿道のリスク情報を把握、関係者との共有
  - ②72時間以内の道路啓開が困難な箇所を可能な限り避けた啓開ルートの設定
  - ③自衛隊や電力会社、一般社団法人日本自動車連盟といった多様な関係機関と連携・協力できる体制の構築や訓練の実施
- 引き続き、県民の安全・安心の確保のため、道路啓開計画の実効性の向上を図り、災害に強い道路ネットワークの構築に取り組んでまいります。



防災訓練(道路啓開)の実施状況



道路啓開のイメージ

### 4.土砂災害対策の推進

令和5年7月の大雨では、県内各地で土砂災害が発生し、特に久留米市田主丸町の千之尾川では、死者1名、負傷者5名という甚大な被害が発生しました。県は、被災地域の一日も早い復旧・復興に向け、全力で復旧工事に取り組んでいます。

また、全国的に土砂災害警戒区域の指定がない箇所において災害が発生したことから、令和2年に「土砂災害防止対策基本指針」が変更されました。これを受け、福岡県では3Dレーザー測量による高精度地形図を用い、土砂災害警戒区域に関する新たな調査箇所を13,662箇所抽出しました。現在、この新たな調査箇所の現地調査を実施し、土砂災害警戒区域の指定を進めているところです。さらに、土砂災害危険度情報をテレビやインターネットで発信するなど、ソフト対策も積極的に展開しています。



令和5年7月千之尾川土砂災害状況

#### インターネットで確認

福岡県 県土整備部砂防課のホームページで確認できます!

- ①「福岡県 土砂災害危険度情報」のサイトにアクセス  
福岡県 土砂災害危険度情報  または
- ②トップページの【表示画面選択】の「土砂災害危険度情報」、「土砂災害警戒情報」をクリック

土砂災害危険度情報の発信

#### テレビで確認

テレビのデータ放送で確認することができます!  
(FBS福岡放送・TNCテレビ西日本で配信中)

リモコンの「dボタン」で表示できます

放送イメージ

## 5.上下水道の耐震化対策

令和6年能登半島地震では、耐震化されていない上下水道施設に甚大な被害が発生し、長期的な機能停止が被災者の避難生活に大きな影響を与えました。福岡県は、こうした事態を回避するため、上下水道施設の耐震化を促進する取組として、市町村や上下水道事業者に対し、耐震化計画の策定や国庫補助の活用について助言しています。また、全ての施設の耐震化には時間を要するため、大規模災害に備え、上下水道一体で連携の取れた災害対応ができるよう、事業者、国、関係団体と共に検討し、強靱なライフラインの構築を目指しています。その一環として、災害時の早期断水解消に向けた広域的な給排水支援や応急復旧といった初動対応を迅速に行うため、国、市町村、上下水道事業者との連携強化を図っています。



下水道管の耐震化

## 6.高機能ドローンの導入

福岡県は、災害時の初動対応強化と業務効率化のため、ドローンを積極的に導入するとともに、操縦士の養成も進めています。令和元年から各県土整備事務所へカメラ付きドローン計11台を配備し、発災後の迅速かつ安全な被害状況把握や応急対応に活用しています。

令和6年度には、大規模災害発生時に広範囲に調査可能な高機能ドローン4台を導入しました。このドローンの操縦には、二等無人航空機操縦士の国家資格が必要であり、令和8年度までに県職員48名が取得予定です。

将来的には、ドローンで取得した画像をAI分析ソフトによる自動被災箇所検索ツールに連携させ、即時に災害発生箇所を抽出できる体制を構築することとしており、さらなる業務の迅速化、効率化、および安全性の向上を目指します。



高機能ドローン(マルチコプター型)



高機能ドローン(固定翼型)

## 3 人を育て、人を惹きつけるまちをつくる

### 1.公園整備事業

福岡県は、「障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるインクルーシブな空間の整備」を6公園で進めています。令和7年8月に県営筑豊緑地(飯塚市)の約6,000㎡の広場にインクルーシブ遊具12基、その他遊具13基、大きな屋根を備えた広場やバリアフリーのトイレ、障がいのある方や妊産婦の方も利用しやすい駐車場を整備し、11月には大濠公園(福岡市)にインクルーシブ遊具5基、その他遊具1基を整備し、12月には春日公園(春日市)にインクルーシブ遊具5基を整備しました。さらに、筑後広域公園(筑後市)、東公園(福岡市)、中央公園(北九州市)の3公園でも整備を進めており、引き続き、多くの県民の皆様に愛され、利用していただけるよう公園整備に取り組んでまいります。



県営筑豊緑地(大屋根広場)



県営筑豊緑地(車椅子のまま乗れる遊具)

### 2.花による美しいまちづくり

福岡県では、国際ガーデニングショーで金メダルを何度も受賞し、「緑の魔術師」と呼ばれる庭園デザイナーの石原和幸氏をコーディネーターに任命し、講演会やセミナーを通じて花による美しいまちづくりの気運を醸成するとともに、朝倉市原鶴温泉周辺地域を含む県内3地域をモデル地域として花あふれるまちの整備を進めています。また、県庁舎や県営公園などにおいてもフラワーボックスの設置や花壇整備を実施し、県内各地で花による魅力ある地域づくりを推進しています。

さらに、ボランティア団体や県民の皆様を対象とした「パートナー花壇制度」(登録数約250件/令和7年11月末時点)を導入し、対象店舗で5%割引を受けられるなどのサポートメニューを設定しているほか、企業からの協賛金をもとに市町村が花壇を整備・管理し、企業の社会貢献活動をPRできる「おもてなし花壇制度」も導入しています。

これらの取組により、県民が笑顔で心豊かに暮らしていける、花で包まれた美しいまちづくりを進めています。



直方市遠賀川沿いの「なのはな花壇」



花による美しいまちづくりコーディネーター任命式



## ライフステージが変わっても 建設業の仕事に携わっていたい。

たかすぎ ゆう き | 株式会社熊谷組 九州支店 土木部 大亀矢代トンネル作業所工事係 (2025年11月取材時)  
高杉 結稀さん | 2023年入社/長崎大学卒業

### 建設業界に入った理由は何でしょうか。

小さい頃から「人の役に立つ仕事がしたい」と考えていたことが、入職のきっかけです。高校時代の部活動で宮城県へ遠征した際、東日本大震災からの復興のために建設業の方が働いている光景を見て建設業への興味が湧きました。土木施工管理という仕事を知ったのも、このとき。そこで、土木分野を学ぼうと長崎大学の社会環境デザイン工学コースへ入りました。学生時代に熊谷組のインターンシップに参加したことから、仕事のやりがいと会社としての魅力を感じた熊谷組へ入社しました。

### 現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

現在(2025年11月)は、長崎県雲仙市の「大亀矢代トンネル」のトンネル覆工に携わっています。トンネルは2025年1月24日に実貫通しており、当時は切羽での掘削も担当していました。トンネル工事が初めての仕事ということ、また切羽の先には何があるか分からない状況ということも相まって、職員や作業員の方に教わりながら仕事を進めました。問題があった場合も、そうした方々と試行錯誤しながら解決し、仕事を進められた際に大きなやりがいを実感しました。

### これからの目標や叶えたい夢はありますか。

このトンネル工事が入社後初の仕事だったので、今後もトンネル工事をメインに様々な土木工事にに関わりながら、自分に適した分野を探していきたいと考えています。できれば、胸を張って、自分が担当した工事であることを多くの人に伝えられる構造物を造りたいですね。また関連資格の取得にもトライし、ライフステージが変わっても将来にわたって建設業の仕事に携わりたいと思っています。もし責任ある役職に就いたときは、職員・作業員の方が楽しく仕事ができる環境づくりに尽力したいです。

### 未来のけんせつ小町へメッセージ!

今、建設業界は、女性が活躍するために変革している時期だと思います。仕事は苦勞することもありますが、それ以上に楽しいこともたくさんあり、やりがいも大きいです。何より、現場の作業員の方や地域の方々との「人の輪」が広がる喜びがあります。建設業に興味を持つ女性の皆さん、働きやすさも向上してきた建設業界の土木技術者として、一緒に頑張ってみませんか。

【工事情報】工事名：主要地方道小浜北有馬線道路改良工事(大亀矢代トンネル)／概要：工事延長L=1,060(1,060)m、幅員W=5.5(7.0)m／場所：長崎県雲仙市小浜町大亀～南島原市北有馬町乙／工期：2022年10月7日～2026年11月30日／施工企業：熊谷・門田・中島特定建設工事共同企業体



### ある1日のスケジュール

- 7:00 出勤  
朝礼  
ラジオ体操・KYC活動  
作業手順の確認  
安全指示事項
- 8:00 現場作業(トンネル覆工)
- 11:30 現場作業員・職員打ち合わせ
- 12:00 翌日の作業内容の確認など
- 昼休み
- 13:00 現場作業(トンネル覆工)  
報告書等書類作成
- 16:30 現場作業員・職員打ち合わせ  
報告書等書類作成
- 退勤
- 19:00



## 現場で働く多くの方々から 信頼される設備担当者をめざします。

ふじき みさき 藤木 咲さん | 鉄建建設株式会社 九州支店 建築部 設備グループ 主任 (2025年11月取材時)  
2017年入社／北九州市立大学大学院卒業

### 建設業界に入った理由は何でしょうか。

子どもの頃は図工が好きで、将来はものづくりを仕事にしたいと思っていました。高校は理系クラスだったので、大学では建築を学ぼうと決めて建築デザイン学科へ。その後、大学院の国際環境工学部環境工学専攻へ進んで、建物の温熱環境研究にも取り組みました。修了後は、規模の大きな建物を造りたいと思って建設業界で働くことを決断。父が列車の運転士だった影響もあって「駅舎」に興味を持っていたため、鉄道分野に関わりの深い鉄建建設への入社を志望しました。



### 現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

複数現場の設備担当者として今、建物内部の給排水設備をはじめ衛生設備、空調換気設備、電気設備などの施工管理に携わっています。工事が施工図と適合しているか、また施主様の要望に適合しているかなどを確認しながら、工事に関わる方々との調整を図る品質管理は大切な仕事の一つです。やりがいは、建物が形になっていく過程を間近で見られること。また、竣工時や内覧会で施主様やエンドユーザーの嬉しそうな表情を見た際は、この仕事で良かったという充実感を覚えます。

### これからの目標や叶えたい夢はありますか。

信頼性の高い技術者になりたいと思っています。建築現場では、必ず設備担当者が設備分野の管理を担いますが、現場所長をはじめ工事に関わる方々から「この人なら任せておいて大丈夫!」と言われる担当者になることが目標です。また今、経験の浅い社員と一緒に担当現場へ足を運び、仕事のサポートも行っています。今後、こうした後輩の指導・教育にもさらに力を注ぎたいと思っています。入社前に思い描いていた、新駅の駅舎の建築もいつか携われればいいですね。

### 未来のけんせつ小町へメッセージ!

建設業界は、今なお男性の多い業界ですが、最近は女性も目に見えて増えてきました。現場で働く女性もいますし、以前は厳しいイメージのあった職人さんも優しく接していただけます。そういう意味では、仕事もかなりやりやすくなりました。竣工前は忙しいものの、私自身ワークライフバランスも取れています。働きやすさの向上した建設業界へ、どうぞ安心して入ってください。

### ある1日のスケジュール

- 8:00 出勤
- 8:30 ラジオ体操・朝礼
- 8:40
- メールや資料確認・施工図チェック
- 11:30 昼休み
- 12:30 午後からの業務の準備・メール確認
- 12:50 工事現場へ移動
- 13:30
- 現場での定例会議
- 16:00 現場確認
- 17:00 帰社  
メールや資料確認
- 18:00 退勤



## 今、建設業界では様々な部所で多くの女性が活躍しています。

前田建設工業株式会社 九州支店 前列左から栗原凜子さん、眞継和歌乃さん、楠部寧々さん、後列左から栗原麻悠さん、池松ひかりさん

くりはら りんこ  
栗原 凜子さん

土木部  
2024年入社  
福岡調理師専門学校卒業

コロナ禍の頃、事務員として建設会社に勤務していましたが、図面や工事に関わる仕事がしたいと思い当社で働くことを志望しました。過重労働対策のための施工支援センターを経て今は、福岡都市高速千代橋梁の工事現場で現場巡視、調査、各種書類作成などの業務にあたっています。ものづくりの醍醐味を感じられるこの仕事は、やりがいと充実感も大きいです。今後は、様々な工事現場に対応できるように成長していければと思っています。

まつぎ わかの  
眞継 和歌乃さん

建築部  
2024年入社  
徳島大学大学院卒業

高校は建築科で学び、大学では社会基盤デザインコースを専攻。さらに大学院で都市デザインを研究した後、地域に良い影響を与える建物を造りたいと思い建設業を選びました。現在、主に杭工事における工事写真の撮影と品質管理を担当しています。まだ経験は浅いですが、私の手配や調整によって工事現場が動くことにやりがいを感じています。これからの目標は、職人さんが働く環境を整え、段取り良く仕事ができるようになることです。

くすべ ねね  
楠部 寧々さん

土木部  
2024年入社  
愛媛大学大学院卒業

インフラを整備する仕事に魅力を感じて建設業界へ。現在は、水力発電所リニューアル工事の施工管理に携わっています。工事を進めるうえで、職長さんや作業員の方々と話し合い、チームで課題を解決できたときには大きなやりがいを覚えます。また同時に、施設の完成が近づく様子を間近で見る喜びや楽しさも感じています。私が関わる全ての工事が無事故・無災害で竣工を迎えられるように、業務の質を高めることが今後の目標です。

くりはら まゆ  
栗原 麻悠さん

建築部  
2017年入社  
金城学院大学卒業

大学で建築を専攻し、スケールの大きな仕事に携わりたくて建設業界へ入りました。現在、天神ビッグバンに伴うビル新築工事の工務を担当しています。施工図・製作図の作成やチェック、製作物の工程管理・品質管理・コスト管理などが主な仕事で、知らなかったことを理解できたり、新発見があったりすることに楽しさを感じています。まずは、担当物件が品質不具合ゼロで竣工することを目標に、これからも安心安全な建物づくりをめざします。

いけまつ  
池松 ひかりさん

土木部  
2022年入社  
福岡大学卒業

建築物ができあがっていく面白さ、スケールの大きな仕事に魅力を感じ、当社へ入りました。今は、伐採工を担当しています。現場の巡視や進捗確認、発注者との協議を行うほか、図面作成も担当しており、日々、現場が変わるなか、常に興味を持って仕事に取り組んでいます。また今では、職人さんとコミュニケーションをとることに楽しさを感じています。将来は、工事の完成まで携わり、達成感を実際に味わってみたいです。

未来のけんせつ小町へ  
メッセージ!

建設業は、女性も大いに活躍できる業界です。内勤はもちろん、近年では複数の女性が働く工事現場も増えてきました。忙しい日もありますが、自分が携わった工事が竣工を迎えたときには、大きな達成感を味わうことができます。女性が働きやすい環境が整ってきた今日、建設業に高い関心を持つ皆さんと、この業界をさらに盛り上げていけたら嬉しいです。けんせつ小町の一員になった皆さんと、いつかお会いできる日を楽しみにしています。

## 福岡県宗像特別支援学校新築工事

■開催日／2025年8月7日 ■場所／福岡県宗像市 ■施工企業／前田・満江特定建設工事共同企業体



毎年、夏休み中に開催している親子現場見学会。今回は16組32人の参加者が、「福岡県宗像特別支援学校新築工事」の現場を訪れました。当日も猛暑となりましたが、冷たいドリンクやキャンディを配るなど熱中症防止対策を十分に講じながら行われました。説明会場となった作業所では担当者が、どのような目的の施設で、何でできているかなどの内容、そして工事の流れなどを説明。写真やドローン撮影した動画を交えたわかりやすい説明に、感心しながら参加者も聞き入っていました。このほか、建設会社の仕事もじっくり解説。仕事の仲間である職人さんたちのことや、安全のために行っていることなどを紹介しました。

お弁当での昼食後に、見学を実施。学校の1階から屋上までを歩き、内装工事などが行われている建築現場を見てまわりました。その後は、作業体験も。大工さんのサポートのもと、木材を削る鉋がけに挑戦。またブックスタンド、タブレットスタンド、スマートフォンスタンドなどの工作にもトライしました。楽しみながらの貴重な体験を終えた後は、説明会場に戻って子どもたちが感想をひと言ずつ話すことに。「夏休みの一番の思い出になりました」「鉋削りが楽しかった」などの声があがったほか、解散時には「楽しかった。また来年応募します」といった保護者の声も聞かれました。



1階から屋上までを歩いてじっくり見学。



いろんな木工品作りも楽しみました。

### 見学MEMO



「福岡県宗像特別支援学校」は、福岡県宗像市の福岡教育大学に隣接する場所で建築工事が行われている、障がいのある子どもたちのための学校です。高さは13m、3階建ての鉄筋コンクリート造りで、体育館の屋根は木製。小学校・中学校・高校の全62教室があり、80年壊れない建物をめざしています。工期は、2026年2月までの約20ヶ月間です。

## 福岡大学多目的棟(仮称)新築工事

■開催日／2025年10月24日 ■場所／福岡県福岡市 ■施工企業／飛鳥建設(株)



日建連九州支部のけんせつ小町部会による「けんせつ小町現場見学会」が、「福岡大学多目的棟(仮称)新築工事」の建築現場で開かれ、会員企業の女性技術者たち18人が参加しました。まずは現場事務所で、説明会を開催。冒頭、けんせつ小町部会の部会長が「今回の見学会・交流を通して、建設業の魅力ややりがいを感じてほしい。自分のキャリアや働き方のヒントにもなるはず。けんせつ小町の声は、建設業界を働きやすくする力を持っている」と挨拶しました。次いで飛鳥建設の作業所長が、今後の参考になればとのことで、工夫した工事など6項目を紹介。併せて、時代と共に変化し、魅力の増している建築分野の状況についてもコメントされました。建物の概要や工事方法などの説明を受けた後は、質疑応答の時間。けんせつ小町からは化粧柱の施工について、また日建連事務局からは働き方改革に対する質問があり、作業所長がその施工方法や取組などを紹介しました。

説明が済むと、工事現場へ。一同は内装工事が行われている建物を屋上まで登りながら、壁やパネル、大きな化粧柱、クレーンで設置した階段などをじっくり見学しました。見学後は、キャンパスや周囲の街が見渡せる屋上、そして作業所の朝礼場で記念撮影を行い、交流も兼ねた見学会は終了しました。



説明会に先立ち、けんせつ小町部会長が挨拶。



見学会に集まったけんせつ小町の皆さん。

### 見学MEMO



「福岡大学多目的棟(仮称)」は、福岡市城南区の福岡大学病院に隣接する、様々な用途で利用できる教育施設です。RC造(一部S造)の地上5階、塔屋1階となっており、1階～2階に多目的室や吹き抜け、3階～5階に講義室やゼミ室などが設けられる予定です。工期は、2024年6月1日～2026年2月28日(延べ21ヶ月)となっています。

## 鹿児島3号東西道路 シールドトンネル(下り線)新設工事

■開催日 / 2025年11月14日 ■場所 / 鹿児島県鹿児島市 ■施工企業 / 大成・大豊特定建設工事共同企業体  
■建設コンサルタント / 日本シビックコンサルタント(株)



学生を対象にした、建設業の魅力を伝えるための土木工事現場見学会が行われ、2025年度は鹿児島工業高等専門学校・都市環境デザイン工学科の4年生35人が、「鹿児島3号東西道路 シールドトンネル(下り線)新設工事」の工事現場を訪れました。学生たちはまず、JV事務所に集合。施工企業である大成建設の作業所長から、全プロジェクトの概要やシールド工の概要説明を受けました。シールド設備や掘削方法、またシールドマシン組立の動画などを交えた説明に、学生たちは興味津々の様子で聞き入っていました。

説明が済むと、市街地地下の工事現場へ。エレベーターで現場へ降り立った学生たちは、地下を伸びる異空間のようなトンネルの雰囲気息を呑んでいました。見学中、セグメントの穴や送風に関する質問もあがり、学生たちの関心の高さが伺えました。見学後は、事務所に戻って発注者・コンサルタント企業・施工企業が、それぞれの事業内容や仕事のやりがいなどを説明して見学会は終了。参加学生からは「先端技術を用いた工事ということもあってカッコいい仕事だと思った」「シールド工の知識はあったが、実際の現場のスケールの大きさに驚いた」「普段は入れないトンネル工事の様子を見学できて感激した」といった感想が聞かれました。



プロジェクトの概要説明に聞き入る学生たち。



地下を伸びるトンネルは独特の雰囲気。

### 見学MEMO



鹿児島東西道路は、鹿児島ICと鹿児島市中央市街地および重要港湾である鹿児島港を結ぶ地域高規格道路。鹿児島3号東西道路シールドトンネル(下り線)は、この道路における「広域ネットワークの形成と混雑の緩和」「アクセス機能の強化」などを図るために整備される延長2.3kmのトンネルで、掘削外径約11mのシールドマシンで掘削されています。

## 苅田港岸壁工事・JR九州社員研修センター

■開催日 / 2025年11月21日 ■場所 / 福岡県苅田町・北九州市  
■施工企業 / 苅田港(新松山地区)岸壁(-12m)築造工事:若築建設(株)  
苅田港(新松山地区)岸壁(-12m)ケーソン製作工事:株式会社白海、亮成建設(株)、苅田港(新松山地区)泊地(-12m)浚渫工事:株式会社池間組



土木学会西部支部と日連建九州支部との共催による一般現場見学会が行われ、参加者29人が2ヶ所を訪れました。最初の見学地は、「苅田港岸壁工事」の現場です。岸壁の築造工事に用いるケーソン製作現場に到着した参加者は、高さ15m・重さ1,500トンの巨大なケーソンの前で、苅田港の概要のほか、ケーソンについての詳しい説明を受けました。見学中には「ケーソンの中はどうなっている?」「設置の方法や設置時間はどれくらい?」といった質問が次々に上がり、あまり見ることのない港湾分野の土木工事に誰もが関心を寄せているようでした。次いでケーソンの据付場所の近くへ移動し、工事の進む港内の様子もウォッチング。海底の土砂を取り除く浚渫船や沖を進む運搬船などを眺めながら、岸壁工事の知識を深めました。

苅田港の見学が終了すると北九州空港のレストランで昼食をとり、その後、北九州市の門司にある「JR九州社員研修センター」へ。まずは教室で施設概要の説明を受け、研修センターの様々な場所を見学しました。案内にあたった担当者からは、「ホーム下の線路に人が落ちて動かない場合はどうする?」「踏切内で自動車がストップしてしまったときの対処は?」などのクイズも出され、研修施設での社員教育の取組とともに鉄道に関する安全知識を楽しく学んだ時間となりました。



ケーソン据付場所の近くで苅田港をウォッチング。



建物前のシンボルガーデンで記念撮影。

### 見学MEMO



「苅田港」は、北九州空港と東九州自動車道との物流ネットワークの結節点となっており、苅田港の背後には国内主要産業を担う様々な企業が立地・集積していることから、企業の生産活動に必要な海上輸送拠点として機能しています。「JR九州社員研修センター」は主に研修棟・実習棟・生活棟で構成される、鉄道のプロとしての技術者を未来につなぐことを目指した教育施設です。



## けんせつ小町3人が FMラジオに出演し、 建設業の仕事を紹介!

建設業で働くすべての女性の愛称である「けんせつ小町」をアピールするため、けんせつ小町3人がFMラジオ「LOVE FM(ラブエフエム国際放送)」の番組、「スイッチオン!DAYTIME(12時30分から約10分間放送)」に出演。けんせつ小町のラジオ出演4年目となる今年度は、広成建設(株)、鹿島建設(株)、戸田建設(株)から各1人が、それぞれの仕事内容や仕事の楽しさ、将来の目標などを紹介しました。

放送では、いつものようにDJが「けんせつ小町」の愛称とともに日建連九州支部の活動を説明。その後、工事現場や会社内で働くけんせつ小町に、「土木・建築分野で働こうと思ったきっかけは?」「どのような仕事に携わっていますか?」「楽しさを感じる時、この仕事を選んで良かったと思う時は?」などをインタビューする形で進行していきました。なお、番組はradikoを使用して聴く方も多く、福岡県外にもリスナーがいるようです。

もちろん今回も、番組に感想を寄せいただいたリスナーへ、抽選で「けんせつ小町オリジナルグッズ」をプレゼント。リスナーからは、「けんせつ小町のみなさん頑張ってください」「女性が働きやすい職場はとても良いと感じました!」「一生懸命に頑張っている姿に感動しました」などのコメントが届きました。

取材の様子は、天神・博多を中心に福岡の最新情報を発信している地域情報ポータルサイトの【天神サイト】を開き、「けんせつ小町」で検索すればご覧いただけます。

天神サイト

◀左からFMラジオに出演した、広成建設(株)の伊藤ゆかりさん、鹿島建設(株)の西山菜緒さん、戸田建設(株)の有働理来さん。



## 土木の日 ファミリーフェスタ 2025

- 主催/福岡地区土木の日実行委員会
- 開催日/2025年10月5日
- 場所/国営海の中道海浜公園  
こどもの広場管理棟

なぜ11月18日は  
土木の日なの?

なぜ11月18日になったかという、2つの理由があります。1つは、土木という漢字をそれぞれ分解すると「土は十一」「木は十八」になるからです。もう1つは、社団法人「土木学会」の前身にあたる「工学会」の創立日が、明治12年11月18日なので、昭和62年にこの日を「土木の日」と定められました。

### 小型バックホウ・高所作業車の乗車体験で建設業をアピール!

「土木の日ファミリーフェスタ」は、“体験しよう!土木のちから!”をキャッチフレーズに開催される、ファミリー向けの楽しいイベントです。日建連九州支部は、2025年度のイベントで「小型バックホウ」「高所作業車」の乗車体験コーナーを、こどもの広場管理棟の出入口近くに設置し、建設業の仕事の一端をアピールしました。今回は、建設機械レンタル会社の(株)アクティオとの共同企画による実施で、会場に並ぶ「小型バックホウ」と「高所作業車」も、実際に工事現場で活躍している建設機器です。

なお、本部のけんせつ小町部会が監修・製作したキッズ用ユニフォームは、気温が高いこともあって希望者のみの着用(ヘルメットは全員着用)。乗車に際しては、子どもたちは乗ってみたい建設機器を選択して乗り込み、記念写真を撮影しました。お昼前後くらいの賑わう時間帯は、長い行列ができるほどの人気ぶり。小型バックホウと高所作業車の両方に乗った人も大勢いたようでした。カメラやスマートフォンを構えた保護者からは、「かっこいいね」や「高くまで上がるね」という声も。前回のイベントに引き続いて大盛況となりました。



バックホウ…ショベルカーとも言われており、掘削作業や整地作業など主に土木工事の現場で活躍します。乗車体験用の小型バックホウは、狭い場所でも使える小回りの良さが特徴です。



高所作業車…人の手が届かない、高い場所での作業を行う建設機器です。屋内の配電作業、照明機器設置作業などで利用されます。乗車体験用の高所作業車は、約200kgを積載できます。

## 災害支援関係説明会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2025年6月26日 ■場所／福岡国際会議場



近年、気候変動の影響によって、大雨などによる気象災害が激甚化・頻発化しています。また、地震大国と称される日本は、常に巨大地震の危険に晒されています。日建連九州支部は、こうした起こりうる日本の災害状況をふまえ、九州地方整備局等と大雨や地震等の災害が起こった場合の「災害支援協定」を締結しており、要請に応じて、資機材等の支援を行うことになっています。

この支援を円滑に行うため、九州支部では支部会員企業から災害支援に携わる関係者を集めた「災害支援関係説明会」を開催しました。本部長(代行)の挨拶の後、「災害支援協定について」をはじめ、「災害対策要領・災害対策要領マニュアルについて」「緊急連絡体制表等の確認について」「工事箇所登録システムについて」「緊急通行車両登録について」「その他・情報伝達訓練について」が順次説明されました。その後は、各班で連絡メールを確認。また、6月30日の情報伝達訓練(昼間用)、7月3日の情報伝達訓練(夜間用)の2回、携帯電話やPCによる緊急時の確認作業が行われました。

## 災害防止総決起大会

■主催／日建連九州支部安全環境委員会 ■後援／福岡労働局 ■開催日／2025年11月26日 ■場所／福岡国際会議場



建設業における労働災害は長期的には減少傾向にありますが、死亡者数は依然として全産業の中で占める割合が高く、憂慮すべき状況は変わりません。そこで九州支部では年末年始の災害防止活動として11月に「災害防止総決起大会」を福岡労働局の後援のもと開催し、労働災害の撲滅を期しています。2025年度は上田哲夫支部長、そして福岡労働局の鈴木一光局長の挨拶に続き2つの講演が行われました。

まず、福岡労働局労働基準部安全課の入江高志産業安全専門官が、「建設工事における労働災害の防止について」という演題で、「県内建設業の労働災害発生状況」や「建設業の安全対策」などを解説。次いで、九州地方整備局企画部の千年康秀技術調整管理官が「建設業における最近の話題について」と題し、「国土強靱化関係について」や「建設現場の現況と課題」などを説明されました。講演後は、大津健二安全環境委員会第1小委員長が「決意表明」を小森浩之安全環境委員会委員長へ読み上げ、大会は終了しました。

## 九州建設技術フォーラム2025

■主催／九州建設技術フォーラム実行委員会ほか ■開催日／2025年10月7・8日 ■場所／福岡国際会議場



九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及促進をより効果的に図るために、「産」「学」「官」が、それぞれの新技術の開発・活用の取組について情報を発信・交換するイベントです。

2025年度は、「老朽化するインフラへの対応～新たな発想の展開による地域防災力の強化～」をテーマに各プログラムが実施されました。7日は、政策研究大学院大学特別教授の家田仁氏による「インフラ政策転換の時代」と題した基調講演が行われたほか(基調講演は当日にWEB配信)、2日間にわたってブース展示、ポスターセッション、プレゼンテーションなどで技術情報が提供されました。リクルーティングプレゼンテーションでは、日建連本部の担当者が「ゼネコンにおけるシビルエンジニアの仕事 土木技術者」と題し、ゼネコン土木の魅力、ゼネコン土木技術者の仕事、働き方などを説明。プレゼンテーションには、建設業に興味を持つ高校生や大学生らが参加しました。なお、当フォーラムには2日間で、約3,000人が会場に足を運びました。

## 意見交換会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2025年12月2日 ■場所／TKPガーデンシティ博多



毎年、日建連九州支部では国土交通省九州地方整備局と「意見交換会」を開催しています。2025年度は28人が出席して、様々な意見を交換しました。冒頭、上田哲夫支部長が、「発注者とのパートナーシップ強化を図りながら、若者や女性にとって魅力あふれる健全な産業となるよう取り組みたい」と挨拶。これに対し「若者や女性を含めた建設に関わる全ての皆さんが、希望を持って働ける、さらに魅力のある業界となるように、業界の皆様と意見交換をしながら課題解決や各種の取組を促進したい」と九州地方整備局の青野正志企画部長が挨拶されました。なお、意見交換では九州支部が、「入札契約手続きについて」「週休2日制について」「生産性の向上について」「労働環境について」「業務の効率化について」「設計変更・工事一時中止について」「建設キャリアアップシステムの取組状況について」「脱炭素社会への取組について」などの複数の提案テーマを説明し、九州地方整備局が回答。約2時間にわたって活発な意見が交わされました。

## 建設技術講演会

■主催/日建連九州支部 ■開催日/2025年12月16日 ■場所/福岡国際会議場



建設技術講演会は、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進し国民生活と産業活動基盤の充実に寄与することを目的に、建設業に関する専門的知識の習得および研鑽を図るために開催されています。

2025年度は上田哲夫支部長の挨拶に続き、3講演が行われました。最初は、九州地方整備局企画部の千年康秀技術調整管理官による「建設業における最近の話題について」という講演で、「令和7年度・8年度の予算」「国土強靱化関係について」「働き方改革に関する取り組み」などを説明。次に、建設機械レンタル会社(株)アクティオ九州支社の大麻敏雄営業部長および女性社員が、「建設機械における最新技術について(建設DX・省人省力化・安全対策)」と題し、建設現場に有用な自社商品を多数紹介されました。最後は、国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課の石井信課長補佐が東京本庁からWEBで講演。「改正建設法に基づく『労務費に関する基準』について」という内容を、分かりやすく説明されました。

## インターンシップ講演会

■主催/長崎大学 ■開催日/2026年1月19日 ■場所/長崎大学



### 2025年度インターンシップ講演会に 会員企業から2人を派遣!

日建連九州支部は毎年、長崎大学工学部工学科社会環境デザイン工学コースの要請によって会員企業から社員を派遣し、講演を行っています。これは、就職を控える学部学生および大学院生に対し、土木事業に携わる建設業者やコンサルタント業者、公務員の「生の声」を届け、進路決定に役立ててもらうために企画されたイベントです。

2025年度は五洋建設(株)と(株)熊谷組から2人が講師として派遣され、建設業界に関心を持つ学生たちにゼネコンの業務内容や自社の紹介、また仕事のやりがいなどについて説明しました。

#### 参加者の声(社会環境デザイン工学コース学生のレポートから抜粋)

自分の中でゼネコンは3K(きつい、汚い、危険)のイメージがあったが、実際は、私たちが思っているほどきつい労働環境ではなかったり、福利厚生が充実してきているなど新しい発見が多かった。

建設業のイメージを、「残業が多く、きつくてブラックな感じ」だと思っていた。しかし、今回のお話を聞いて、繁忙期は確かに残業はあるが、1日で考えると多くて2時間くらいであり、残業代も必ず付くと言われていたことから建設業のイメージが少し変わった。また、自分が将来どこに部署で何をしたいのかを会社の人にしっかり言葉で伝えることが大事ということを教えていただいて、自分のキャリアプランをよく考えることも忘れずにいたいと思った。

## 安全環境委員会活動

### 現場点検の実施状況および講習会の開催状況

#### 〈2025年度 安全環境委員会の主要活動〉

部会別区分	現場点検	講習会受講者
交通	3現場 6名 ※本・支部合同点検 1現場含む	—
地下埋	—	1回 42名
火薬類	2現場 4名	—
環境	4現場 8名	—
交通・環境合同	—	1回 46名
計	9現場 18名 ※本・支部合同点検 1現場含む	2回 88名



### 2024年度 表彰現場



左から戸田建設(株)、(株)大林組、(株)熊谷組

日建連九州支部では現場点検に基づき、交通対策、火薬・地下埋対策、環境対策の分野において、優良と認められた作業所を表彰しています。

2024年度は、「大林組」「戸田建設」「熊谷組」の3社・3現場において、その成績が優秀で他の模範と認められたことから2025年3月18日に表彰式が行われ、表彰状と盾が贈られました。

#### 〈支部長表彰現場〉

##### 交通対策優良現場

- (株)大林組九州支店
- 宮崎田野ネットワークセンター新築工事
- 宮崎田野NC工事事務所
- 発注者/KDDI株式会社

##### 火薬・地下埋対策優良現場

- 戸田・西光・アスミオ・西部共同企業体
- 粕屋系送水管布設工事(その1)
- 福岡水道粕屋送水管布設工事事務所
- 発注者/福岡地区水道企業団

##### 環境対策優良現場

- (株)熊谷組・飛島建設(株)・(株)岩永組共同企業体
- 黒川第一発電所総合更新(復旧)工事の内、土木本工事、除去工事(その1)
- 黒川第一PS作業所
- 発注者/九州電力(株)水力開発総合事務所 技術部立野地区土木グループ

## 団体の概要

## 〈一般社団法人日本建設業連合会〉

## ■設立

(社)日本建設業団体連合会(旧日建連)、(社)日本土木工業協会(土工協)、(社)建築業協会(建築協)の三団体は、2011年4月1日に合併し、(社)日本建設業連合会(日建連)として新たに発足しました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。建設業界が大きな転換期を迎えつつある今、建設業団体としての機能を一層強化・拡充し、建設業の発展に向けた活動をより強力に展開してまいります。

## ■目的

日本建設業連合会(日建連)は、日本を代表する総合建設業者を主な構成員とする団体です。日建連は、建設業に係る諸制度をはじめ、建設産業における内外の基本的な諸課題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国の建設産業界の健全な発展を図り、もって国民生活と産業活動の充実に寄与することを目的としています。

## ■会員

日建連は、建設業界の連合組織であり、正会員である団体会員と法人会員、および特別会員によって構成されています。

- 法人会員…一定規模以上の総合建設業者
- 団体会員…主に総合建設業者で構成する事業者団体

さらに、日本国内で事業活動を行っている外国の建設業者および、建設業に密接に関連する事業を行っている法人を対象にした特別会員制度も設けています。

2026年2月1日現在の会員数は、正会員141社・5団体、特別会員6社です。

## ■役員

総会において理事、監事が選任されます。任期はそれぞれ2年となっています。協会活動の円滑な運営を図るため、理事会の決議により会長、副会長、事務総長、専務理事、常務理事を置いています。

## ■機関

事業を推進するため、次の機関を設置しています。

- ①総会  
定時、臨時の2種類があり、定時総会は毎年4月に開催されます。事業計画、収支予算、役員を選任など協会活動の基本的な諸事項について審議、決定します。
- ②理事会  
通常、毎月1回開催され、総会に付議する事項や総会の議決を要しない会務に関する事項を審議、決定します。
- ③事業本部および委員会  
協会活動の中心となる調査研究組織であり、2つの事業本部と2つの特別委員会、28の委員会を設けています。委員は会員各社から募り、建設業に係る諸問題について調査研究活動を行っています。
- ④支部  
全国9地区に支部を設置しています。支部には、支部長、副支部長、運営委員、監査委員を置き、本部の活動方針に基づく活動を行っています。
- ⑤事務局  
本部、支部それぞれに事務局を設置しています。

## 〈九州支部の概要〉

## ■設立

当支部は、本部の合併により、2011年4月1日から(社)日本建設業連合会(日建連)の九州支部となりました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。

支部の活動は、引き続き従来どおりの活動を行うとともに、3団体合併の主旨に則り、建設産業全体の健全な発展へ向けた諸活動をより強力に展開してまいります。

## ■会員

支部の会員は「九州地区において本社・支店等を有し建設業を営業者で、かつ、本部会員である者」に限られています。また、九州地区に本社・支店等がなくても、本部正会員であれば、支部の会員になることができます。

したがって企業規模・技術水準・社会的信用などあらゆる面で真に業界を代表するに足る企業によって構成されている団体です。

会員数は2026年2月1日現在で59社を数えています。

## ■役員

支部長は総会において、支部長候補者の了承後、会長から任命されます。副支部長は総会で選任された運営委員の互選により支部長が任命します。副支部長は9名を置いています。監査委員は総会において推薦者の了承後監事が指名します。任期はそれぞれ2年となっています。

## ■事業

本支部は次のような事業を行っています。

- ①災害対策への対応
- ②公共工事の円滑な実施
- ③安全・環境対策等の推進
- ④請負契約制度の改善および積算の適正化と資材対策の推進
- ⑤技術開発の推進
- ⑥電力施設建設事業、鉄道建設事業、海洋開発建設事業の推進
- ⑦広報活動の推進

## ■委員会

支部活動の中心となる調査研究機関として、広く会員から委員を募り、総務広報委員会、契約委員会、積算資材委員会、電力委員会、鉄道委員会、安全環境委員会、建築委員会を設置しています。

## ■沖縄支所

沖縄地区での活動を実施するため、1996年6月から沖縄に支所を置いています。支所に所属する会員数は44社を有しています。

一般社団法人日本建設業連合会九州支部会員

(五十音順 2026年2月1日現在59社)

ア

アイサワ工業(株)九州支店  
青木あすなろ建設(株)九州支店  
あおみ建設(株)九州支店  
(株)浅川組九州営業所  
(株)浅沼組九州支店  
(株)新井組九州支店  
(株)安藤・間九州支店

イ

岩田地崎建設(株)九州支店

ウ

梅林建設(株)

オ

大木建設(株)九州営業所  
(株)大林組九州支店  
(株)大本組九州支店  
(株)奥村組九州支店  
オリエンタル白石(株)九州支店

カ

鹿島建設(株)九州支店  
鹿島道路(株)九州支店

キ

九鉄工業(株)

ク

(株)熊谷組九州支店

コ

広成建設(株)九州支店  
(株)鴻池組九州支店  
五洋建設(株)九州支店

サ

佐藤工業(株)九州支店  
三軌建設(株)

シ

清水建設(株)九州支店  
ショーボンド建設(株)九州支店

セ

西武建設(株)九州支店  
(株)銭高組九州支店

タ

大成建設(株)九州支店  
大成ロテック(株)九州支社  
大日本土木(株)九州支店  
大豊建設(株)九州支店  
(株)竹中工務店九州支店  
(株)竹中土木九州支店

テ

鉄建建設(株)九州支店

ト

東亜建設工業(株)九州支店  
東急建設(株)九州支店  
東洋建設(株)九州支店  
戸田建設(株)九州支店  
飛鳥建設(株)九州支店

ニ

西松建設(株)九州支社  
日特建設(株)九州支店  
日本国土開発(株)九州支店  
(株)NIPPON九州支店

ノ

(株)ノバック九州支店

ヒ

ピーエス・コンストラクション(株)九州支店

フ

(株)福田組九州支店  
(株)フジタ九州支店  
(株)不動テトラ九州支店

ホ

(株)本間組九州支店

マ

前田建設工業(株)九州支店  
松尾建設(株)

ミ

三井住友建設(株)九州支店  
みらい建設工業(株)九州支店

ム

村本建設(株)九州支店

モ

(株)森本組九州支店

ヨ

(株)吉田組九州支店  
寄神建設(株)九州支店

リ

りんかい日産建設(株)九州支店

ワ

若築建設(株)九州支店

役員

(2026年2月1日現在)

支部長	(株)大林組 九州支店長 上田 哲夫	副支部長	清水建設(株) 九州支店長 湯原 克佳
副支部長	西松建設(株) 九州支社長 高橋 一太	"	(株)安藤・間 九州支店長 黒田 二郎
"	梅林建設(株) 社長 梅林 伸伍	"	鉄建建設(株) 九州支店長 遠田 喜一
"	大成建設(株) 九州支店長 西河 誠	"	鹿島建設(株) 九州支店長 小森 浩之
"	(株)熊谷組 九州支店長 山下 正治	"	(株)鴻池組 九州支店長 北西 隆司
運営委員	青木あすなろ建設(株) 九州支店長 大石 雅俊	運営委員	日本国土開発(株) 九州支店長 草野 康成
"	(株)奥村組 九州支店長 町田 義文	"	(株)フジタ 九州支店長 吉村 康男
"	九鉄工業(株) 社長 福永 嘉之	"	前田建設工業(株) 九州支店長 塚本 修史
"	五洋建設(株) 九州支店長 矢ヶ部 恭弘	"	松尾建設(株) 社長 松尾 哲吾
"	佐藤工業(株) 九州支店長 成瀬 賢二	"	三井住友建設(株) 九州支店長 伊藤 泰生
"	(株)銭高組 九州支店長 清水 隆司	監査委員	大日本土木(株) 九州支店長 福武 伸吾
"	(株)竹中土木 九州支店長 小西 真臣	"	東急建設(株) 九州支店長 三嶋 昭
"	戸田建設(株) 九州支店長 重本 彰	"	(株)不動テトラ 九州支店長 小澤 慎一
"	飛鳥建設(株) 九州支店長 柳森 豊		